

# 職場間の「押し付けあい」を解消し、互いに貢献する 組織風土を創造する 職場連携強化研修

係長

課長  
補佐

課長

部長

インターバル研修

## 研修のねらい

- 例外事項の課題について、その特徴と困難性を理解します。
- 例外事項の課題について、意識面、技術面からのアプローチを理解します。
- 例外事項の課題について、職場間の連携を促し、その解決のスピードを促進させます。

地方自治体では、職場間の連携を更に強化していくことが求められます。それは、不確実・想定外の時代にあって、様々な例外的な仕事(=エクセプション・タスク)が発生します。例えば、東日本大震災発生時において、要援護者(高齢者・障がい者の方など)の散乱した室内を片付ける支援作業のような仕事です。これらは、次のような3つの特徴があります。

- ① 自治体以外に主体的に取り組む組織がなく、緊急性を要すること
- ② 担当部署が曖昧で、なおかつ1つの部署では解決できないこと
- ③ 未経験のタスクであり、なおかつ失敗が許されない雰囲気があること

以上のような特徴から、最終的には自治体が遂行するしかなく、スピードが求められるタスクにもかかわらず、「自分の部署の担当ではない」「今の仕事で自分の職場は忙しい」などのセクショナリズム的、前例踏襲的な発言を先行させ、職場間の連携力を弱めて、解決までに不要な時間を浪費してしまいます。

この研修は、エクセプション・タスクの事例研究などを通じて、より一層の職場間連携力を高めることをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日目(半日コース)	2日目(半日コース)
<p>■ 新しい連携への挑戦</p> <p>1. エクセプション・タスクとは</p> <p>(1) エクセプション・タスクとは</p> <p>(2) エクセプション・タスクの困難性</p> <p>(3) エクセプション・タスク 課題解決に向けた2つのアプローチ</p> <p>■ 新しい連携の具体策</p> <p>2. エクセプション・タスクのチーム</p> <p>(1) エクセプション・タスクのチーム ～新しい連携のためのチームの条件～</p> <p>(2) 意識面からの連携強化策</p> <p>(3) 技術面からの連携強化策</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習 ◇ 「意識面・技術面の連携強化策」</p> <p>3. 次回に向けて</p>	<p style="text-align: center;">◇ 前回の振り返り ◇</p> <p>4. エクセプション・タスクの実践</p> <p style="text-align: center;">◇ ケーススタディ ◇</p> <p>5. エクセプション・タスクの実践の振り返り</p> <p style="text-align: center;">◇ 発表 ◇ ◇ 相互評価 ◇ ◇ 講評 ◇</p> <p>6. まとめ</p>